

よりん彩

第53号

2016.12



共同参画時代の自分磨きセミナー よりん彩委託事業
赤碓男の料理教室より

目次

特集：第4次鳥取県男女共同参画計画 スタート！

～共に認めあい、互いに支えあい、誰もが活躍できる元気な鳥取県～

- | | | |
|----------------------------|-------|------|
| | | P2～3 |
| • 地域で考える減災 自治会長ゲーム～災害への備え～ | | P4～5 |
| • あなたのまちの男女共同参画 北栄町 | | P5 |
| • きらり輝く 遠藤みはるさん（鳥取市） | | P6 |
| 遠藤麻衣子さん（米子市） | | P6 |
| • 相談室・情報ライブラリー | | P7 |
| • 知る得コーナー | | P8 |



鳥取県男女共同参画センターの愛称「よりん彩」とは「ちょっと寄ってってくださいな」という意味の言葉で、気軽に利用していただきたい、老若男女いろいろな色（彩）を寄せ合って男女共同参画社会づくりの輪が広がってほしいという願いが込められています。

第4次鳥取県男女共同参画計画

スタート!



～ 共に認めあい、互いに支えあい、誰もが活躍できる元気な鳥取県 ～

(平成28年度(平成28年11月)～平成32年度(平成33年3月31日)まで)

鳥取県では、女性も男性も互いに人権を尊重し、共に支えあい、責任を分かちあい「人」として個性と能力が十分発揮できるとともに、誰もが自分らしく心豊かに伸び伸びと暮らせる「男女共同参画社会」の実現に取り組んでいます。このたび第4次鳥取県男女共同参画計画がスタートしたのにもとない、現在の課題や計画で定める重点目標、よりん彩の主な取組について紹介します。

計画策定の背景

<国の動き>

- 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)の施行(H27.9)
- 第4次男女共同参画基本法の策定(H27.12閣議決定)

<社会情勢の変化>

- 少子化と人口減少の進行
- 高齢化の進行
- 単身世帯の増加など家族形態の多様化
- ライフスタイルの変化
- 非正規労働者の増加・貧困

<課題>

- 固定的性別役割分担意識の解消
- 男女の不平等感
- 政策・方針決定過程への女性の参画拡大
- 出産・子育て期における女性の就業継続
- 長時間労働等の働き方の見直し
- あらゆる暴力の根絶

3つの基本テーマと6つの重点目標で、男女共同参画の推進を図ります。

基本テーマA



男女が共に活躍できる環境づくり

男女が互いに協力し、支え合い、仕事と生活のバランスがとれ、充実した生活を送ることができるよう、男女が能力を発揮し、様々な分野に主体的に参画し、ともに活躍できる環境作りに向け、女性活躍の取組を推進します。

《重点目標》

1 働く場における女性の活躍推進

- (1) 仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の推進
- (2) 男女が共に能力を発揮できる職場環境作り
- (3) 農林水産業・商工業等の自営業における男女共同参画の推進

(女性の活躍推進セミナー)



鳥取県男女共同参画推進人材育成協働事業

2 地域・社会活動における女性の活躍推進

- (1) 議会・審議会等の政策・方針決定過程における女性の参画の推進
- (2) 地域活動における男女共同参画の推進
- (3) 地域おこし、まちづくり、観光、環境分野における男女共同参画の推進
- (4) 防災・災害復興分野における男女共同参画の推進

(自治会長ゲーム)



出前講座



安全・安心に暮らせる社会づくり

人権が尊重され、一人ひとりが自立し、誰もが安全・安心して暮らすことができるよう、男女間での暴力根絶に向けた取組、困難な状況に直面した人々への支援や男女が心身ともに健康に生きることができるよう取組を推進します。

(LGBTってなんだろう?)

3 生涯を通じた男女の健康支援

- (1) 生涯を通じた男女の健康の保持増進
- (2) 妊娠・出産等に関する支援
- (3) 健康をおびやかす問題についての対策の推進

4 誰もが安心に暮らせる環境整備

- (1) 高齢者が暮らしやすい環境の整備
- (2) 障がい者が暮らしやすい環境の整備
- (3) 外国人が暮らしやすい環境の整備
- (4) ひとり親家庭など生活上困難な状況に置かれている人への支援
- (5) 性的マイノリティに関する理解促進



共同参画時代の自分磨きセミナー

5 男女間におけるあらゆる暴力の根絶

- (1) 暴力を許さない社会づくり
- (2) 安心して相談できる体制づくり
- (3) 様々な情報を自分の判断で適切に見分けられる能力の育成



よりん彩相談室のパンフレット



男女共同参画社会の実現にむけた基盤づくり

多様な生き方が選択でき、男女が希望に応じてともに働き、互いに家庭を支えあうことができるよう、固定的役割分担意識の解消に向け、一人ひとりが性別に関わりなく個性や能力を発揮することを学んだり、考えたり、行動したりできるよう、あらゆる人たちに男女共同参画の理解が定着するように推進します。

(ステージイベントの様子)

6 男女共同参画の理解促進と未来の人材育成

- (1) 男女共同参画の理解と共感を広げる普及啓発
- (2) 子どもの頃からの男女共同参画の推進
- (3) 生涯を通じた男女共同参画の学習機会の提供
- (4) 男性の家庭生活・地域生活への参画推進
- (5) 国際的視野に立った男女共同参画の推進



よりん彩記念日フォーラム

(男の料理教室)



共同参画時代の自分磨きセミナー



男性の家庭進出研修派遣チラシ

(小学校での総合的な学習の時間)



出前講座

地域で考える減災

自治会長ゲーム ～災害への備え～



鳥取看護大学 看護学部

教授 田中 響さん

倉吉市立鴨川中学校で、
減災教育について学んでいる授業の様子

阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、そして今回の鳥取県中部地震など大きな災害が起こった時には、まず身の安全を確保することが重要です。その次に大切なのは、災害直後に生まれるいわゆる「空白の時間」（外部からの支援が間に合わない時間帯）への対応です。

まずは、地域に残っている人たちが互いに助け合うしかありませんが、災害が日中に起こった場合、ほとんどの大人は仕事に出かけて自宅にはいません。また、高校生や大学生も遠くの学校にいて、地域に残っているのは高齢者や子どもたちということになります。

このような状況の下では「中学生」はとても頼りになる存在となります。

そこで、災害発生時に地域で活躍してほしいと、中学生を対象とした「減災^(※1)教育」に取り組んできました。

(※1) 災害は防ぐことはできないので、「防災」でなく「減災」と呼ぶ



■自治会長ゲームとは

「減災教育」では中学生対象の「自治会長ゲーム」を取り入れました。このゲームは、災害発生時に必要と思われる9つの能力の書かれた「自治会長サイン帳」に、その能力を持った9人の人のサインを集め、サインしてくれた人に「お礼カード」を渡すというものです。

実際、地域には色々な技術や能力、経験をもった人が住んでいます。この人たちが協力し合うことができれば、災害時の困難を乗り越えていくことが容易になります。地域の自治会長は、これら色々な力をもった人たちを上手に繋ぐリーダーです。

自治会長ゲームでは、参加者自らが自治会長となったつもりで、他の参加者とコミュニケーションを取りながら災害時に役立つ能力を持っている人を発見し、上手に協力を得ることを目指すゲームです。



実際に自治会長ゲームをしている様子

■自治会長ゲームを通して中学生が学んだこと

自治会長ゲームに不可欠な「他者とのコミュニケーション力」は、中学生一人ひとりの意識や関心を高めることにも繋がります。ゲームに参加した中学生からは「災害時には様々な人達の気持ちを考え、気持ちを伝え合うことが必要」「日頃からの地域づきあいが大切」などの感想が寄せられました。中学生にとって初対面の人と話をすることは勇気も必要で、相手の気持ちを推測しながら会話することは難しく面倒なことでもあります。このゲームを通してコミュニケーションの大切さを感じる、良い機会ともなっています。

■地域でも役に立つ

自治会長ゲームは、地域に暮らす大人同士でも活用することができます。

このゲームに必要な要素であるゲーム参加者同士によるコミュニケーションは、積極的に様々な人々が交流するきっかけとなり、良好な関係をつくることができたり、地域住民の一人であることを再認識して、他の住民への配慮や協力し合う心を養うこともできます。

また、参加者自身も地域住民の一人としての役割を再発見して、やればできるという自信を得ることにもつながります。

よりん彩出前講座として、地域や自治会でも田中醫教授による「自治会長ゲーム」をしていただけます。日程の調整が必要となりますので、ご希望の方はよりん彩までお問い合わせください。
※若干の旅費等が必要になります。

あなたのまちの男女共同参画 ～市町村の取り組み～

北栄町

県内の各市町村が男女共同参画の実現に向けてどのような取り組みをされているかご紹介をします。

第8回は、北栄町役場企画財政課政策企画室

室長 藤江純子^{ふじえしゅんこ}さんにお話をうかがいました。



◆取り組み

北栄町では琴浦町・湯梨浜町と3町合同企画の地域住民による男女共同参画啓発ミニドラマを制作し、TCC（鳥取中央有線放送株式会社）で放映しました。

放映後、北栄町男女共同参画推進会議と自治会長会の皆さんとの意見交換の場では、自治会役員はどうしても男性が中心になりがち、役員を選ぶときも女性だからとか、男性だからとか関係なく個人の能力を考えて、人数も半々になるようにしようという意見が出ていました。

ドラマは普段の生活の中で見落としがちなのが題材になっているので、見た後に振り返って考えることのできるわかりやすいつくりになっています。このため、最近では各自治会での研修にも活用されています。DVDはよりん彩にもあり、貸出が出来ますのでご利用ください。

また、毎年12月に開催する「町長と女性が語る会」は、町民、事業所などの視点で意見交換をし、町政に対しての提案を行うなど、男女共同参画の推進の場となっています。

このたびの地震発生で、11月12日に開催が予定されていた北栄町女性団体連絡協議会主催の「男女共同参画フォーラム2016」は延期を余儀なくされましたが、来年には開催を予定していますので、その際はぜひご来場ください。

きらり輝く

県内等で活躍している
個人や団体を紹介します。

逃げずに挑戦!!

世界的な女性下着メーカー株式会社ワコールのグループ企業である株式会社トリーカ青谷工場で、創業以来はじめて女性工場長となられた遠藤みはるさんにお話をうかがいました。

えんどう
遠藤みはるさん（鳥取市）



♥管理職になって特に大変だったこと、よかったこと

もともと技術職で入社し、経営に関わることになるとは思っていなかったため、工場長としての資質よりも初の女性工場長という名前が先行し戸惑いました。ただ、たくさんの人の支えもあり、1年目の工場経営は順調だったので大きな苦労はありませんでした。

♥管理職として気を付けている点

会社の方針を自分の軸に置きながら工場の経営をしています。また、社員に対しては公平公正であること、そして常に平常心であるように心がけています。しかし、やはり何でも出来る訳ではないので時々自分の弱いところを見せて部下に助けてもらっています。

♥女性が管理職になるということについての考え

管理職のお話をいただいたときに家族の協力がなくてできないと思っていました。そして、自分自身「管理職なんて私に務まるだろうか？」と大きな不安がありました。

しかし、管理職を受けた理由のひとつに「私の持っている、自分でも気づいていない能力があるとするならば……私を推薦してくださるかたの人を見る目であったり、気持ちを信じてみよう!」「取りあえず、逃げずに挑戦してみよう! 精一杯頑張ってみよう!」と思ってお受けしました。

これからますます女性が活躍する（女性が活躍しないといけない）時代になって行くと思いますが、これからの世代の人たちに一言。「自分を信じて」そして「あなたなら出来る、大丈夫!」という先輩や上司の言葉を信じて、もっとポジティブに生きて輝く女性を目指してほしいと思います。気持ちの持ち方次第で可能性はどんどん広がって行きますよ。

情熱だけが、人を動かす!

ドイツの老舗紅茶メーカー、ロンネフェルト社認定の「ティーアドバイザー」「シルバートーマイスター」の試験を日本で一番の成績で合格し、現在は複合レストラン「フォレスト」の統括マネージャーとして活躍中の遠藤麻衣子さんにお話をうかがいました。

えんどう まいこ
遠藤麻衣子さん（米子市）



♥今のお仕事をはじめられたきっかけは?

京都の大学を卒業して、就職したのち、結婚を機に米子へ帰郷しました。半年近く専業主婦をしていましたが、家にいることで気持ちが落ち込み、それを心配した夫が自分の性格に向いていそうな仕事を探してくれ、今の職場にパートとして入社しました。

♥家庭や職場の中での役割分担はどのようにされていますか?

一人暮らしを経験していたので家事全般はできますが、介護士の夫と料理好きの夫の母の協力もあり、互いの生き方を認めあい尊重しながら役割分担をしています。

職場では、スタッフが仕事をしやすいよう、それぞれに得意な事や好きな事に挑戦してもらい、一人ひとりの良いところを伸ばしながら、苦手な部分は仲間同士で補い合い、楽しく仕事をしてもらえるよう心掛けています。

♥働きやすい職場づくりで工夫されていることは?

きつい仕事なのでスタッフに辛い思いをさせていると思っていましたが、「好きなことに自由に挑戦させてもらえ、お客様に喜んでいただけるこの会社ですと働きたい」と言われ感動しました。自分が家族同様に大切にしているスタッフが、リフレッシュしてお客様に対して良いコンディションで仕事できればと思い、本部や上司を説得して休日を増やしたところ、売上げがどんどん上がっていきました。また、スタッフが子どもの予定、行事に合わせて休暇を取れるようにローテーションを組んでおり、とても好評です。春の目標売上げを達成したら、社員全員に一週間の連続休暇を約束していて、その目標もスタッフが自分達で達成してくれたので、今からみんなが順番に休暇を取得するのを楽しみにしています。



新しい家族のこと親子関係のこと ～思い込みに気づくところからはじめよう～

今、4組に1組は再婚カップルといわれています。そして、夫婦の一方あるいは双方が、前の配偶者との子どもを連れて再婚して生まれる家族のことを「ステップファミリー」といいます。

ステップファミリーとして、新しい夫婦関係、新しい親子関係をつくっていくとすると、「一緒に暮らささえすれば」とか「パートナーを愛してさえいれば」うまくいくというような思い込みから、初婚同士の家族とは違った家族内での気持ちのすれ違いや葛藤などが生じる場合も多くあるようです。

新しい家族と一緒に暮らす中で感じた違和感や辛さ、悩みをお聴きし、気持ちを整理しながら、信頼に基づく家族の関係が深まるよう一緒に考える場所の一つとして、よりん彩相談室があります。

気軽にご利用ください。

(相談室詳細は裏面をご覧ください。)

Q. 一緒に暮らせば家族になれる？

⇒再婚する時、人は希望にあふれていますが、ステップファミリーは、違った経験や習慣を持った大人と子どもが家族になります。互いに関わり合い、前向きな関係を築き、家族の歴史を作り上げるには4年以上かかるといわれています。

Q. 親の離婚や再婚を経験した子どもは、問題を抱えている？

⇒子どもは親の離婚/再婚後、新しい環境に戸惑い悩む時期があります。しかし、ほとんどの子どもは時間がかかっても心の安定を取り戻します。5～10年後には、多くの子どもが初婚家庭の子どもとほとんど変わらないことが、分かっています。

“情報ライブラリー” おすすめBOOK

2016年度上半期の貸し出し ベスト5を紹介！

情報ライブラリーの今年度4月から9月までの上半期にたくさん読まれた本を発表します。暮らしを楽しむ工夫や断捨離に関する図書がたくさんの方に利用されました。「もの」の持ち方・暮らし方など、心豊かに、幸せに生きるためのヒントが見つけれられたのではないかと思います。

ベスト5
この5冊

- 1位 大橋鎮子さんが教えてくれた「ていねいな暮らし」
洋泉社編集部／編 洋泉社 2016
- 2位 持たないていねいな暮らし
マキ／著 すばる舎 2015
- 3位 わたしのうちには、なんにもない。
ゆるりまい／著 エンターブレイン 2013
- 4位 ねないこだれだ
せなけいこ／さく・え 福音館書店 1986
- 5位 男女共同参画白書 平成28年版
内閣府男女共同参画局／編 勝美印刷株式会社 2016



お願い

現在、貸し出し中の図書をご自宅で保管されています方は、直接よりん彩に持ってきていただくか、倉吉未来中心の正面玄関に出しているブックポストの中へ入れてください。よろしくお願ひします。
※なお、毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は、その直後の平日）年末年始は休館日となっておりますのでご了承ください。

あなたの企画を応援します。

平成28年度 よりん彩活動 支援事業補助金

県内で活動する団体やグループ、企業、若者グループが、男女共同参画を学ぶ目的で自ら企画・運営する講演会や学習会などに対して補助金を交付します。

公開講座

広く一般に公開し、50名以上の参加者が見込める講座

●上限12万円

研修支援講座

自治会、企業、PTA等の団体が開催する学習会や研修会

●上限2万5千円

若者企画講座

県内の学生や若者が企画し、一般へも参加を呼びかける講座

●上限5万円

男女共同参画人材育成協働事業【講座】

日時 平成29年1月21日(土)
14:00~16:00(予定)

会場 新日本海新聞社中部本社ホール
倉吉市上井町1丁目156番地

内容 テーマ 女性アスリートたちへのエール
~2020年東京五輪に挑む~
講演会・パネルディスカッション
講師/小笠原悦子さん
(順天堂大学女性スポーツ研究センター)
パネリスト
東京五輪を目指す県内の女性アスリート

共同参画時代の自分磨きセミナー【講座】

日時 平成29年2月5日(日)
13:30~15:00(予定)

会場 新日本海新聞社中部本社ホール(予定)
倉吉市上井町1丁目156番地

内容 テーマ 今、ここに輝く
講師/柳井沙羅さん(シャンソン歌手)

10月21日の鳥取県中部地震に伴い、よりん彩の利用につきまして、大変ご迷惑をおかけしました。一時移転していましたが、11月29日から倉吉未来中心で業務を再開しております。アトリウムが改修工事のため、倉吉交流プラザのある方の出入り口から、出入りしていただくこととなります。また、施設の一部の利用制限などを行っています。ご不便をおかけしますがよろしくお願いします。

鳥取県男女共同参画センター よりん彩

〒682-0802 鳥取県倉吉市駄経寺町212-5

電話(代表) 0858-23-3901 ファクシミリ 0858-23-3989

HPアドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/yorinsai/> 電子メール yorinsai@pref.tottori.jp

「よりん彩」は県民皆さんの施設です。お気軽にお立ち寄りください

センター相談室(倉吉：よりん彩内)

電話：0858-23-3939

火曜日～日曜日 午前9時～午後5時

土、日、祝日可(月曜日が祝日の場合は翌日が休み)

専門相談(臨床心理士による心の相談・法律相談)も行っています。各相談室にお問い合わせください。

東部相談室

(県庁第2庁舎1F)

電話：0857-26-7887

西部相談室

(米子コンベンションセンター4F)

電話：0859-33-3955

月曜日～金曜日 午前9時～正午、午後1時～5時
(第3木曜日は午前9時～11時30分)

男性相談員が対応する男性一般相談は毎週土曜日です。(センター相談室)
電話：0858-23-3955 相談日時：毎週土曜日 午後1時30分～5時30分

*広報紙「よりん彩」へのご意見、ご感想などをお寄せください。次号は平成29年3月発行予定です。
よりん彩ネット・電子メールの配信をご希望の方はよりん彩メールアドレスへご連絡ください。